

「あわもくよんプロジェクト」について

1 プロジェクトの概要

県営住宅「新浜町団地」については、昭和30年代に建設され、建物の老朽化が進行していることから、順次建替えに取り組んでおります。

このうち、残る3棟（72戸）の建替えについては、集約化を図るとともに、建築基準法の改正により可能となった、全国初の「あわし木造・4階建て」とし、集約化で生み出されたスペースへの「地域貢献施設の整備」を含め、「PFI方式」により事業を進めて参ります。

2 PFI事業の実施方針

○事業内容

- ・ あわし木造4階建て県営住宅（27戸）の建設
※県営住宅本体の設計は、別途コンペで選定し、現在設計中
- ・ 県営住宅の外構等の設計、整備
（津波避難が可能な「集会所」の整備等）
- ・ 新棟及び既存住棟の管理
- ・ 地域貢献施設の設計、建設、管理（独立採算）
（福祉施設などの整備等）

○事業予定期間

令和3年度（事業契約締結の日）から令和20年3月31日まで
（施設整備業務約2年、管理業務約15年）

○事業方式

BTO（Build Transfer Operate）方式

（PFI事業者が施設を建設し、完成後は所有権を県に移転し、事業者が事業期間中の管理業務等を行う方式）

3 今後の予定

令和3年6月下旬	要求水準書（案）公表
令和3年7月～8月	要求水準書（案）説明会 要求水準書 決定
令和3年9月	入札公告
令和4年度	新棟完成予定



「2050年カーボンニュートラル」に資する「先進的な木造建築モデル」への挑戦！

設計業務

設計

- 既存県営住宅の集約化に向けたプランニング
3棟72戸 ➡ 27戸
- もくよんWG(ワーキンググループ)の設置
- ・新しい木構造の技術開発
- ・新しい防耐火基準の技術検討
- 建設に係る
 - ・測量
 - ・周辺家屋調査
 - ・電波調査 等
- 旧棟の住民の移転

PFI事業

① 県内事業者の活躍と研鑽につながる場の提供

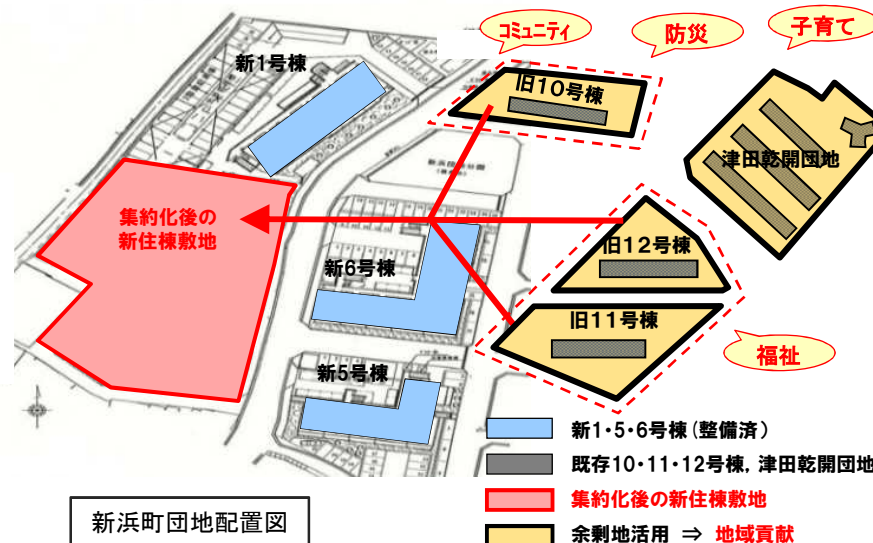
- ・建設・管理を県内事業者が実施

② 地域への貢献(余剰地活用)

- ・高齢者が安心して暮らせる福祉拠点(デイサービス、見守りサービス等)
- ・現役世代における子育て拠点(子育て住宅等)
- ・地域の交流や利便性を高めるためのコミュニティ拠点(コミュニティカフェ、フィットネス、店舗等)
- ・災害時の避難活動等の防災拠点(備蓄倉庫等)

③ 木材利用

- ・全国に先駆けた「あらわし」による4階建て木造住宅への挑戦
- ・温室効果ガス(CO₂)の排出抑制への貢献



新浜町団地配置図



施設整備イメージ

設計コンペ最優秀作品「軸組もくよんが紡ぐ、重なり合う営みと風景」

地元コミュニティの核となる県営住宅の実現